

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 4月

令和4年4月1日の推計人口 1,284,787人
世帯数 555,185世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和4年4月1日現在の推計人口は、1,284,787人で、前月(1,290,992)に比べ6,205人の減少となった。

市部では、長崎市(△1,623)、佐世保市(△1,408)、諫早市(△533)、対馬市(△350)、五島市(△309)、島原市(△252)、大村市(△233)、雲仙市(△211)、壱岐市(△207)、南島原市(△144)、西海市(△126)、平戸市(△123)、松浦市(△94)の13市で減少した。

郡部では、時津町(17)の1町で増加し、新上五島町(△208)、長与町(△179)、波佐見町(△84)、川棚町(△58)、佐々町(△45)、東彼杵町(△22)、小値賀町(△13)の7町で減少した。

自然動態は、出生数697人、死亡数1,702人で1,005人の減少、社会動態は、転入者数10,531人(県内転入を含む)、転出者15,731人(県内転出を含む)で、5,200人の減少となった。

2 世帯数

令和4年4月1日現在の世帯数は、555,185世帯で前月(555,257)に比べ72世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計=R2 国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 2月

1人当たり現金給与総額 240,152円
対前月比 0.8%減少
対前年同月比 3.1%減少

1 賃金

2月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は240,152円で、前月に比べ0.8%減少し、前年同月に比べ3.1%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は237,190円で、前月に比べ1.6%減少し、前年同月に比べ3.4%減少した。

特別給与額は2,962円で、前年同月に比べ、539円増加した。

2 労働時間

2月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は137.2時間で、前月に比べ3.3%減少し、前年同月に比べ1.0%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は127.2時間で前月に比べ2.9%減少し、前年同月と比べ、0.4%減少した。

所定外労働時間数は10.0時間で、前月に比べ8.2%減少し、前年同月に比べ6.5%減少した。

3 雇用

2月の常用労働者数は211,625人で、前月に比べ、0.9%減少し、前年同月に比べ1.1%減少した。

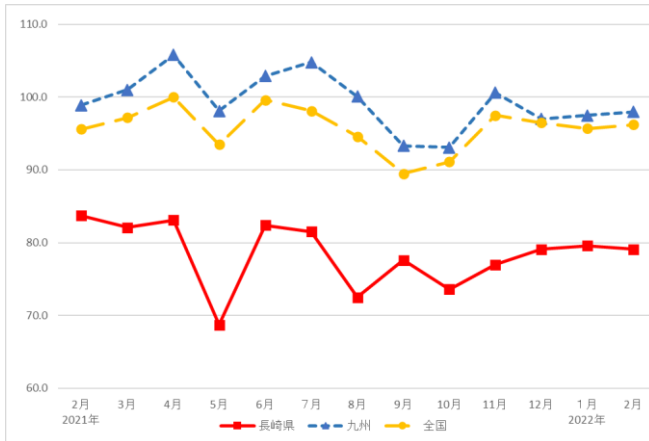
【鉱工業生産指数】……………2月

令和4年2月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	調整指数	前月比(%)		
長崎県	79.1	△0.6	70.0	△3.7
九州	98.0	0.6	93.7	△1.0
全国	96.2	2.0	92.5	0.5

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



2022年2月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が79.1で対前月比は0.6%の減、原指数は70.0で対前年同月比は3.7%の減となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、電気機械工業、食料品工業など7業種が上昇し、輸送機械工業、繊維工業、はん用・生産用機械工業など6業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	23.4	半導体集積回路
電気機械工業	8.4	開閉制御装置
食料品工業	0.7	その他の調味料

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
輸送機械工業	△27.8	新造船
繊維工業	△6.1	織物製外衣
はん用・生産用機械工業	△3.5	バンディングマシン

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………3月

総合指数(R2=100)	100.9
対前月比(%)	+0.5
対前年同月比(%)	+1.0

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、100.9である。

前月比0.5%の上昇で、主な上昇要因は「食料」の+0.8%、「光熱・水道」の+1.3%であり、主な下落要因は「保健医療」の△0.4%である。

前年同月比は、令和3年11月は+0.2%、12月は+0.6%、1月は+0.3%、2月は0.5%と推移した後、3月は1.0%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は100.7で前月比0.5%の上昇であり、前年同月比は+0.7%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

光熱・水道	1.3%
家具・家事用品	1.0%
食料	0.8%
交通・通信	0.7%
諸雑費	0.7%
被服及び履物	0.6%
教養娯楽	0.6%
教育	0.1%

▽同水準の費目

住居	±0.0%
----	-------

▽下落した費目

保健医療	△0.4%
------	-------

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………3月

消費支出(一世帯当たり)	317,828円
前月比	41,079円増(14.8%増)

令和4年3月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は317,828円で、前月比14.8%の増、前年同月比は9.9%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は87.9%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。